

# あなたは今、 経済安全保障上の**リスク**に直面しています。

あなたの会社や研究機関が狙われる『技術流出』のリスクパターンとは？

## Case 01 サイバー攻撃による技術流出

先端技術を有する企業の社員のもとに、  
実在する企業の営業を名乗る者から事業に関するメールが届いた。  
幾度かのメールでのやり取りの後、添付されていた事業資料ファイルを開いた社員。  
問い合わせのために電話を入ると、「そんなメールのやり取り自体していない」と返答された。  
そして…。



## Case 02 スパイ工作による技術流出

ある会社の社員が道端で、通りすがりの外国人に声を掛けられた。  
以後2人は継続的に食事をする間柄に…。  
しかし、この外国人は、周到に計画・準備をし、社員に近づいてきた情報機関員であった。  
社員は巧妙なスパイ工作を受け、会社の公開情報を複数回渡し、その度ごとに少額の報酬を受け  
取った。やがて、心理的な抵抗が弱まってきたところで要求されたのは…。



## Case 03 経済・学術活動を通じた技術流出

ある大学の教授は、教授の研究に強い興味を持つという、女子留学生のゼミへの参加を許可した。  
しかし、時間が経つにつれ、この女子留学生は、研究に関する秘密情報を教えてほしいと、次第に  
強く迫るようになる…。



## 『技術流出』に、どう対処すべきか？

3つのSを守ることで、リスクを軽減できます！

### See

相手・書類をよく見る

### Stop

立ち止まってリスクを把握する

### Share

共有・相談する

この身近に迫るリスクには警察だけでなく、  
皆さん自身による自主的な取組が必要不可欠  
皆さんの大事な技術をともに守っていきましょう！

警察庁のホームページでは、  
このようなリスクや対策について説明した動画を公開しています。  
裏面の二次元バーコードから御覧ください。